

## ⑰ 公開実用新案公報 (U)

平1-171563

⑤Int. Cl.<sup>4</sup>  
H 02 K 11/00識別記号 庁内整理番号  
C-7304-5H

④公開 平成1年(1989)12月5日

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全2頁)

⑥考案の名称 レゾルバ付モータ

⑦実 願 昭63-64528

⑧出 願 昭63(1988)5月18日

⑨考 案 者 相 倉 伸 建 三重県三重郡朝日町大字繩生2121番地 株式会社東芝三重  
工場内

⑩出 願 人 株 式 会 社 東 芝 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地

⑪代 理 人 弁理士 則近 憲佑 外1名

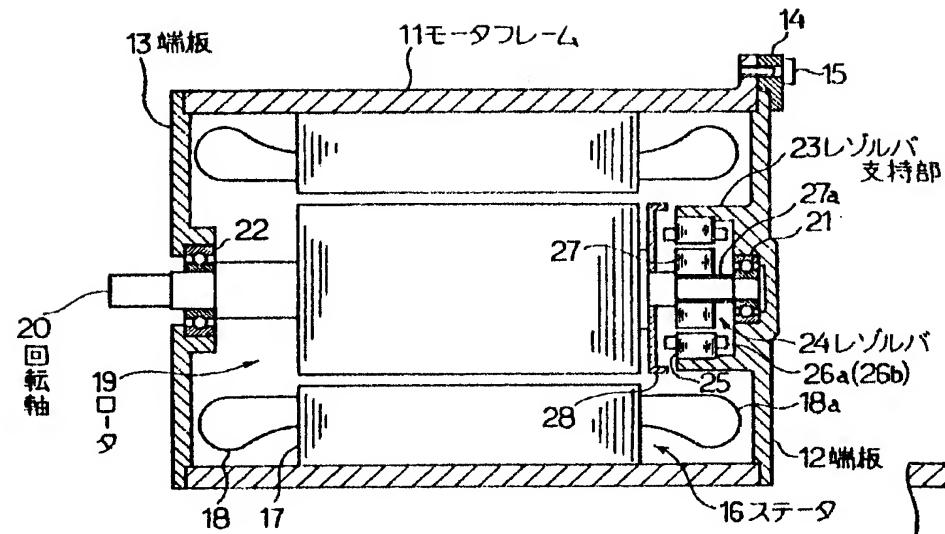
## ⑫実用新案登録請求の範囲

- 1 モータフレーム内に固定されたステータ並びに上記モータフレームの端板間に軸受を介して支持されたロータを備え、上記ロータの回転軸に対してレゾルバを同軸状に連結して成るレゾルバ付モータにおいて、前記レゾルバのステータの外径を前記モータにおけるステータコイルのコイルエンド内径より小に設定すると共に、前記端板の内側にレゾルバ支持部を設け、このレゾルバ支持部に対して前記レゾルバをそのステータがモータ側のステータコイルのコイルエンド内周に位置するように固定したことを特徴とするレゾルバ付モータ。
- 2 少なくともモータのロータとレゾルバとの間に磁気遮蔽部材を介在させたことを特徴とする請求項1記載のレゾルバ付モータ。

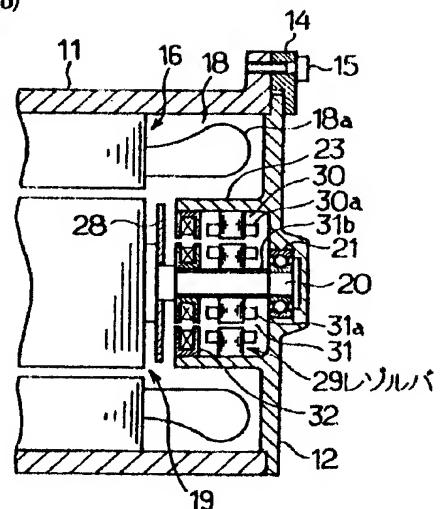
## 図面の簡単な説明

第1図は本考案の第1の実施例を示す全体の縦断面図、第2図は本考案の第2の実施例を示す部分縦断面図、第3図は本考案の第3の実施例を示す部分縦断面図である。また、第4図は従来例を示す第1図相当図である。

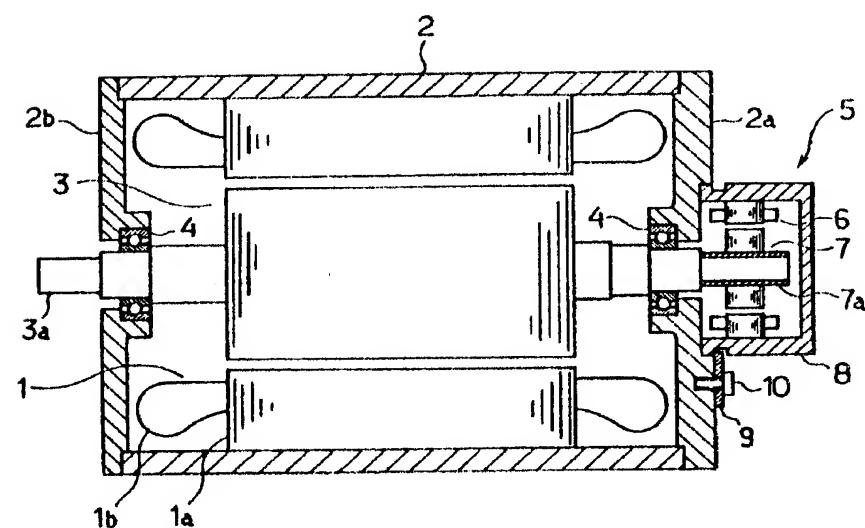
図中、11はモータフレーム、12, 13は端板、16はステータ、19はロータ、20は回転軸、21, 22は軸受、23は円筒部(レゾルバ支持部)、24はレゾルバ、25はステータ、27はロータ、28は磁気遮蔽板(磁気遮蔽部材)、29はレゾルバ、30はステータ、31はロータ、32は回転トランス、33はレゾルバ、34はステータ、35はロータ、36は回転トランス、37は凹部(レゾルバ支持部)、38は磁気遮蔽板(磁気遮蔽部材)を示す。



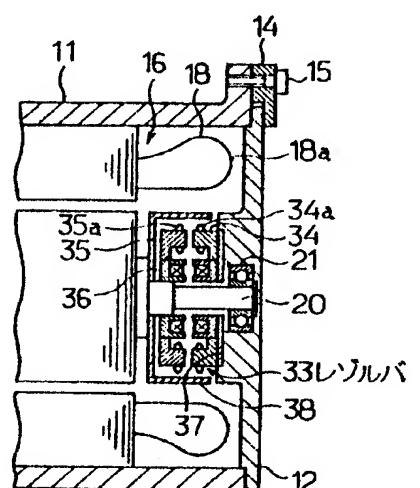
第 1 図



第 2 図



第 4 図



第 3 図